

# 新生児の低血糖



## 低血糖について:

- 低血糖とは、血液中のブドウ糖の濃度が低いことです。
- ほとんどの新生児は、生後2-3時間の血糖がやや低くなりますが、これは正常であり低血糖ではありません。
- 低血糖は一時的なものです。重症または長時間持続する低血糖は赤ちゃんの脳に影響を与える可能性があります。そのようなことは非常にまれです。
- 下記の場合は血糖確認を行うことになっています
  - 糖尿病のお母さんから生まれた赤ちゃん
  - 早産または病気の赤ちゃん
  - 低出生体重児
- 低血糖のある赤ちゃんの多くは見た目や行動が正常ですが、中には以下のような症状がみられることがあります:
  - 哺乳力が弱い
  - 呼吸が速い
  - 肌の色が白っぽい
  - 手足が小刻みに震える(ピクピクする)
- このような症状があれば、低血糖を疑って血糖を検査することがあります。
- 症状がなくても低血糖のリスクがあれば検査をすることがあります。
- 血糖の確認のための血液検査は、赤ちゃんのかかとに針を刺して行うか、または腕の静脈から針で採血を行います。

## 治療:

- 軽度の低血糖の場合は頻繁に母乳飲ませるだけで血糖値が上がるかもしれません。赤ちゃんとの肌と肌のふれあいも助けになります。
- 血糖値が上がらない場合、以下を行うことがあります:
  - その赤ちゃんのお母さんが搾った母乳を飲ませる
  - 低温殺菌したドナー母乳を飲ませる
  - 赤ちゃんの口の中にグルコースゲルを塗る
  - (お母さんの許可を得て)人工乳を飲ませる
- 重症の低血糖の場合、新生児病棟やNICU(新生児集中治療室)でのブドウ糖の点滴が必要となる場合があります。
  - 頻繁に搾乳をして、可能な限り頻繁に赤ちゃんの面会に行きましょう。赤ちゃんの準備が整えば授乳が可能です。

## 母乳育児と低血糖:

- 低血糖になったのは、母乳の何かが悪かったせいではありません。
- 早期から頻繁に母乳を飲ませることは赤ちゃんの血糖値を健康なレベルに保つのに役立ちます。
- 赤ちゃんとの肌のふれあいをすることは、低血糖を減らし、赤ちゃんが母乳を飲む助けにもなります。
- 赤ちゃんがうまく飲まない時は、搾った母乳をあげることが必要になるかもしれません。手搾りでも搾乳器を使ってもかまいません。頻繁に搾乳をすることは、母乳の量を増やすのに役立ちます。